

行 政 報 告

(令和4年第4回定例会)

(報告事項)

- 1 農作物の作柄状況について
- 2 建設工事の進捗状況について

令和4年12月13日

行政報告（令和4年第4回定例会）

令和4年第4回厚真町議会定例会にあたり、次の2点についてご報告申し上げます。

（農作物の作柄状況について）

最初に、農作物の作柄状況についてご報告いたします。

本年は台風等の影響はなかったものの、最終的に各作物の収量・品質は平年並からやや低い水準となっています。

水稻については、農林水産省が11月9日に公表した作況指数(暫定値)は、全国は100の「平年並み」、北海道は106、胆振・日高は105の「やや良」となりました。

米の出荷量は、カントリーの概算精算見込数量約6千153トン・約10万2千561俵（昨年7千465トン・約12万4千427俵）となっており、このうち主要品種である「ななつぼし」で約4千254トン・約7万900俵、「ゆめぴりか」で約1千764トン・約2万9千400俵となっています。規格外米を合わせると約7千235トン・約12万589俵（昨年約8千130トン・約13万5千509俵）の出荷を見込んでいます。米の食味の評価となるタンパク質含有率は平年並みとなっており、「ななつぼし」の低タンパク率（6.8%以下）は53%、「ゆめぴりか」の基準品（7.4%以下）は86%の見込みとなっておりますが、低温多雨傾向、移植時期の早晚による圃場間の生育差が生じ、未熟粒割合が多くなりました。そのため、^{あみしたまい}網下米・色彩選別による屑米の発生量は平年の約1.5倍となっています。

秋まき小麦は、6月以降の日照不足から、1穂粒数が劣り、収量は平年より劣りました。なお、令和5年産の秋まき小麦は、越冬前の生育量が確保されています。

大豆は、百粒重は平年並、莢数はやや多く、一莢内粒数が少なく、収量は平年並の見込みとなっています。

小豆は、8月の日照不足と多雨の影響を受け、百粒重は小さく、収量も平年を下回る見込みとなっています。

てん菜は、8月中旬以降、多雨の影響により褐斑病が発生しました。生育期間を通して、気温が高く、日照不足となったため、収量は平年より低く、根中糖分はやや低い見込みとなっています。

そ菜園芸は、南瓜・馬鈴薯・ブロッコリー等は降雨の影響による湿害等の障害もあり品質低下につながりました。ハスカップは大雪による枝折れや低温、裏年等の条件が重なり、花芽も少なく、近年にない大不作となりました。

花きは、病害虫の発生も少なく概ね良好で、若干前進出荷となりました。

畜産については、酪農では生乳生産、乳価ともに堅調に推移しているものの、コロナ禍による消費低迷が続いているため、乳価が高い飲用向けの出荷が減少し、加工原料向けの出荷が増加していることから、手取乳価が減少傾向となっています。肉牛では素牛、枝肉ともに価格は安定しています。養豚は、巣ごもり需要が低調となり、価格は昨年を下回っています。

以上のとおり、気象変動が激しく、新型コロナにより米をはじめとする農作物の価格低迷のほか、燃油、肥料、飼料等の資機材の高騰など、農業経営においても様々な影響を受けましたが、主要作物は総じて平年並みからやや低い水準の作柄となりました。

(建設工事の進捗状況について)

次に、建設工事の進捗状況についてご報告いたします。

土木工事については、先ず国が実施している直轄砂防事業は、日高幌内川では堰堤及び溪流保全工、チケッペ川・チカエップ川・東和川では、砂防堰堤の

嵩上げと町道付け替え工事を実施しており、令和5年度の完成予定で進められています。

北海道が実施している道道工事については、厚真浜厚真停車場線が厚真インターから上厚真市街方面へ延長360mの改良舗装、また上幌内早来停車場線は幌内橋から幌内神社方面へ延長240mの改良舗装が共に12月末の完成予定であります。更に、厚真新橋と上厚真大橋の補修工事が進められており、厚真新橋は来年3月、上厚真大橋は令和5年度の完成予定となっています。二級河川では厚真川が国道235号線から上流へ延長800mの改修工事が完了しており、入鹿別川は長沼川との合流点から上流2km付近で延長400mの改修工事が進められており、来年3月の完成予定であります。

町道工事については、新町9号線の改良舗装、表町西通り線と本郷西線の舗装補修が完成しており、幌内左岸線の改良舗装は60%、豊沢共栄線舗装補修は40%の進捗であります。桜丘幌里線舗装補修は、国の補助金配分が見込めず未執行となっています。河川工事では、共和2号排水流末工事は80%、シナイ沢川は5%の進捗であります。公園工事では、上厚真中央公園整備工事が完成しています。

また、8月15日から16日にかけての大雨による被害箇所の復旧工事は、単独災では町道鹿沼上沢線とウクル川及びハビウ川が完成しており、入鹿別川は5%の進捗であります。また公共災は、ハビウ川2箇所の復旧工事を今後発注し、3月末の完成を目指し進めてまいります。

宅地耐震化事業については、発注予定2工事のうち1工事が発注済で年度内に完了する見込みとなっています。残り1工事については令和5年度の繰越事業として国と協議中であり、併せて発注準備を進めています。

簡易水道事業においては、未普及解消事業については高丘地区で工事を実施しており、進捗率は10%、豊沢地区の配水管新設工事については進捗率50%、

上厚真地区の道道改良工事に伴う配水管布設替工事については進捗率50%、その他上厚真地区で予定していた工事については完了しています。現在、進捗中の工事については来年1月の完了予定となっています。

公共下水道事業については、厚真浄化センターの電気計装設備の更新工事を施工しており、来年3月の完了予定で進捗率は20%、浄化槽市町村整備工事については、設置予定20基のうち5基を完成しており、進捗率は25%となっています。

建築工事については、厚真中学校グラウンド整備工事の進捗は99%で12下旬の完成を予定しております。

以上ご報告申し上げます。